

様式第 2 号の 2－①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	九州動物学院
設置者名	学校法人 昭徳学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学院 HP で公表 https://kyudo.ac.jp 学院概要「学校法人昭徳学園 理事名簿」
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元県学事課職員	令和 3 年 9 月 12 日～令和 5 年 9 月 11 日まで	外部理事による、組織の管理体制へのチェック機能と事業計画等に対して高度な判断を期待
非常勤	民間企業総務部長	令和 3 年 9 月 12 日～令和 5 年 9 月 11 日まで	
(備考)			

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	九州動物学院
設置者名	学校法人昭徳学園

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
（備考）		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	九州動物学院
設置者名	学校法人昭徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・シラバスは必要事項(授業内容、授業到達目標、成績評価の指導等)を記載し作成している。 ・授業計画(シラバス)については、前期末、後期末の年 2 回開催される九州動物学院講師会議(教育課程編成委員会)の中で検討 ・次年度のカリキュラムに反映するシステムを構築している。 ・シラバスは授業開始前に学生に配布説明を行う。 ・2020 年 4 月 1 日からホームページ上で公開	
授業計画書の公表方法	学院 HP で公表 https://kyudo.ac.jp 学院概要「授業計画書 (シラバス)」
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・学修成果については、前期・後期試験実施 ・100 点満点中 60 点以上合格としている。 ・試験等による成績評価、再試、追試等の基準に沿って運用している。 ・合格者には単位を認定している。 ・履修については入学後にシラバスと同様「九州動物学院学生便覧」(修学、就職、学生生活、学則、学生規定等)を配布し説明 ・学生便覧はホームページ上で公開 学生便覧 修学 単位認定 抜粋 ⑥評価 i. 成績の評価は、科目担当教員による試験(筆記、口答、実技など)、レポート、出席状況および授業中の態度などに基づいて総合的に下記のような基準で行われます。 90 点以上 (S) 教員の指導、授業を殆んど完璧に理解(実技の場合は修得)している。 80 点以上 (A) 教員の指導、授業を大変よく理解している。 79～70 点 (B) 教員の指導、授業を良く理解(修得)している。 69～60 点 (C) 教員の指導、授業を最低限理解(修得)している。 59 点以下 (D) 教員の指導、授業を理解(修得)していない。 S、A、B および C 評価を合格とする。 D 評価を受けた者が再試験で合格した場合、C 評価とする。	
3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・履修科目の成績評価については、全科目の平均点を算出して点数化し、学生の成績分布を把握している。 ・前期、後期試験、再試、追試終了後学年における成績状況一覧を作成し順位付けを行い、総合的に評価を行っている。 ・個人の成績は保護者にも通知し、学生と共有できるようにしている。 ・成績低位の学生については学習の意義、手法について面談を行い、目標設定を行っている。 ・学生便覧 修学、学生規定に掲載しており、学生配布と同時に説明を行っている。 ・客観的な指標の設定については、ホームページで公開している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学院 HP で公表 https://kyudo.ac.jp 学院概要「成績評価における客観的な指標の算出法」

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 年度末に卒業・進級認定会議を開催し、成績一覧表（出席率、成績、単位数、取得検定等）をもと学生便覧学生規定履修規定、試験規程並びに学則の規定に基づき認定を実施している。 学位授与の方針 本学院は教育目標に定める人材育成のため、(学則卒業第 33 条第 1 項) 本学院に 2 年以上在学し、別表 1 表履修科目と配当年次に示す所定の授業科目の履修修了者については、学院長が卒業を認定する。 卒業認定方針はHPで公開している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学院 HP で公表 https://kyudo.ac.jp 学院概要「単位認定、成績評価、卒業認定、規定」

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	九州動物学院
設置者名	学校法人 昭徳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学院HPで公開 http://kyudo.ac.jp 学院概要 2022 年度「財務諸表」
収支計算書又は損益計算書	学院HPで公開 http://kyudo.ac.jp 学院概要 2022 年度「財務諸表」
財産目録	学院HPで公開 http://kyudo.ac.jp 学院概要 2022 年度「財務諸表」
事業報告書	学院HPで公開 http://kyudo.ac.jp 学院概要 2022 年度「財務諸表」
監事による監査報告（書）	学院HPで公開 http://kyudo.ac.jp 学院概要 2022 年度「財務諸表」

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程	動物看護学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3928 単位時間／単位	2100 時間 ／単位	328 時間/ 単位	1800 時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			3928 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		83 人	0 人	7 人	29 人	36 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) ・ 授業計画（シラバス）については、前期末、後期末の年 2 回開催される九州動物学院講師会議（教育課程編成委員会）の中で検討 ・ 次年度のカリキュラムに反映するシステムを構築している。 ・ シラバスは授業開始前に学生に配布説明を行う。 ・ ホームページ上で公開	
成績評価の基準・方法	
(概要) ・ 前期、後期試験、再試、追試終了後学年における成績状況一覧を作成し順位付けを行い、総合的に評価を行っている。 ・ 個人の成績は保護者にも通知し、学生と共有できるようにしている。 ・ 成績低位の学生については学習の意義、手法について面談を行い、目標設定を行っ	

ている。 ・学生便覧 修学、学生規定に掲載しており、学生配布と同時に説明を行っている。 ・カリキュラムは学生便覧に掲載しホームページで公開している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 年度末に卒業・進級認定会議を開催し、成績一覧表（出席率、成績、単位数、取得検定等）をもとに学生便覧学生規定履修規定、試験規程並びに学則の規定に基づき認定を実施している。 学位授与の方針 本学院は教育目標に定める人材育成のため、（学則卒業第 33 条第 1 項）本学院に 3 年以上在学し、別表 1 表履修科目と配当年次に示す所定の授業科目の履修修了者については、学院長が卒業を認定する。
学修支援等
(概要) 成績、出席率低下等の学生に担任が面接等を行い、必要に応じて教務課主任が面談を行う。緊急の場合は保護者同席、保護者個別の面談を行っている。面談は個室を利用

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36 人 (100%)	0 人 (0 %)	35 人 (97.2%)	1 人 (2.8%)
(主な就職、業界等) 動物病院、ペットショップ、牧場、水族館、			
(就職指導内容) 1 年次：個人情報取り扱い講習、ビジネスマナー講義 2 年次：動物業界の職種や求められている人材に関する講習、各業界からの特別講義、ビジネスマナー講義			
(主な学修成果（資格・検定等）) 愛玩動物看護師（国家資格）、愛玩動物飼養管理士 1、2 級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85 人	2 人	2.3%
(中途退学の主な理由) 意欲喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・カウンセリング、保護者面談の実施等		

②学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程	動物管理学科 管理コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2728 単位時間／単位	1440 時間 ／単位	328 時間/ 単位	960 時間/ 単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			3928 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		34 人	0 人	7 人	29 人	36 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業計画（シラバス）については、前期末、後期末の年2回開催される九州動物学院講師会議（教育課程編成委員会）の中で検討 ・次年度のカリキュラムに反映するシステムを構築している。 ・シラバスは授業開始前に学生に配布説明を行う。 ・ホームページ上で公開
成績評価の基準・方法
（概要） ・前期、後期試験、再試、追試験終了後学年における成績状況一覧を作成し順位付けを行い、総合的に評価を行っている。 ・個人の成績は保護者にも通知し、学生と共有できるようにしている。 ・成績低位の学生については学習の意義、手法について面談を行い、目標設定を行っている。 ・学生便覧 修学、学生規定に掲載しており、学生配布と同時に説明を行っている。 ・カリキュラムは学生便覧に掲載しホームページで公開している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 年度末に卒業・進級認定会議を開催し、成績一覧表（出席率、成績、単位数、取得検定等）をもとに学生便覧学生規定履修規定、試験規程並びに学則の規定に基づき認定を実施している。 学位授与の方針 本学院は教育目標に定める人材育成のため、（学則卒業第 33 条第 1 項）本学院に2年以上在学し、別表 1 表履修科目と配当年次に示す所定の授業科目の履修修了者については、学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要） 成績、出席率低下等の学生に担任が面接等を行い、必要に応じて教務課主任が面談を行う。緊急の場合は保護者同席、保護者個別の面談を行っている。面談は個室を利用

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 動植物園、動物愛護センター、トリミングサロン、ペットショップ、			
（就職指導内容） 1 年次：個人情報取り扱い講習、ビジネスマナー講義 2 年次：動物業界の職種や求められている人材に関する講習、各業界からの特別講義、ビジネスマナー講義			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物飼養管理士 1、2 級、トリマー検定 B、C 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	1 人	5.5%
（中途退学の主な理由） 意欲喪失		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・カウンセリング、保護者面談の実施等		

③学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程	動物管理学科 トリマーコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2728 単位時間／単位	1200 時間 ／単位	328 時間/ 単位	1200 時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			3928 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		34 人	0 人	7 人	29 人	36 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業計画（シラバス）については、前期末、後期末の年2回開催される九州動物学院講師会議（教育課程編成委員会）の中で検討 ・次年度のカリキュラムに反映するシステムを構築している。 ・シラバスは授業開始前に学生に配布説明を行う。 ・ホームページ上で公開
成績評価の基準・方法
（概要） ・前期、後期試験、再試、追試終了後学年における成績状況一覧を作成し順位付けを行い、総合的に評価を行っている。 ・個人の成績は保護者にも通知し、学生と共有できるようにしている。 ・成績低位の学生については学習の意義、手法について面談を行い、目標設定を行っている。 ・学生便覧 修学、学生規定に掲載しており、学生配布と同時に説明を行っている。 ・カリキュラムは学生便覧に掲載しホームページで公開している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 年度末に卒業・進級認定会議を開催し、成績一覧表（出席率、成績、単位数、取得検定等）をもとに学生便覧学生規定履修規定、試験規程並びに学則の規定に基づき認定を実施している。
学位授与の方針
本学院は教育目標に定める人材育成のため、（学則卒業第33条第1項）本学院に2年以上在学し、別表1表履修科目と配当年次に示す所定の授業科目の履修修了者については、学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要） 成績、出席率低下等の学生に担任が面接等を行い、必要に応じて教務課主任が面談を行う。緊急の場合は保護者同席、保護者個別の面談を行っている。面談は個室を利用

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ペットトリミングサロン、動物病院			
（就職指導内容） 1年次：個人情報取り扱い講習、ビジネスマナー講義 2年次：動物業界の職種や求められている人材に関する講習、各業界からの特別講義、ビジネスマナー講義			
（主な学修成果（資格・検定等）） トリマー検定B、C級、愛玩動物飼養管理士1、2級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・カウンセリング、保護者面談の実施等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
動物看護学科	100,000 円	600,000 円	500,000 円	1 年次海外研修費 300,000 円
動物管理学科	100,000 円	600,000 円	500,000 円	1 年次海外研修費 300,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HTTP://kyudo.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校法人昭徳学園九州動物学院に係る自己点検評価等の結果について、専門家や地域の同窓会の意見を聴取し、教育活動及び学院運営の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
熊本市動植物園獣医師	2023 年 4 月 1 日 ～2025 年 3 月 31 日	専門家等 評価委員
九州動物学院同窓会幹事	2023 年 4 月 1 日 ～2025 年 3 月 31 日	同窓会 評価委員
イノセントランド代表 ペットアロマコーディネーター	2023 年 4 月 1 日 ～2025 年 3 月 31 日	企業・専門家等 評価委員
ペットショップ R-one 店長	2023 年 4 月 1 日 ～2025 年 3 月 31 日	企業・専門家等 評価委員
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学院HP で公表 http://kyudo.ac.jp 「2022 年度学校関係者評価報告書」		
第三者による学校評価 (任意記載事項) http://kyudo.ac.jp		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<http://kyudo.ac.jp>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	九州動物学院
設置者名	学校法人 昭徳学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		19人	17人	36人
内 訳	第Ⅰ区分	13人	13人	
	第Ⅱ区分	0人	4人	
	第Ⅲ区分	6人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				36人
（備考）				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0 人	0 人	0 人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0 人	0 人	0 人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0 人	0 人	0 人
「警告」の区分に連続して該当	0 人	0 人	0 人
計	0 人	0 人	0 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0 人	前半期	0 人	後半期	0 人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0 人
3月以上の停学	0 人
年間計	0 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

コメントの追加 [A1]:

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。